財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権であり、償却原価法(定額法)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方法によっている。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,014,000	0	0	30,014,000
投資有価証券	69,986,000	0	0	69,986,000
小　　計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
公益目的事業推進準備資金	46,700,000	0	30,000,000	16,700,000
小　　計	46,700,000	0	30,000,000	16,700,000
合　　計	146,700,000	0	30,000,000	116,700,000

３．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	30,014,000	(0)	(30,014,000)	(0)
投資有価証券	69,986,000	(0)	(69,986,000)	(0)
小　　計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
特定資産				
公益目的事業推進準備資金	16,700,000	(0)	(16,700,000)	(0)
小　　計	16,700,000	(0)	(16,700,000)	(0)
合　　計	116,700,000	(0)	(116,700,000)	(0)

４．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,281,384	1,281,381	3
合　　計	1,281,384	1,281,381	3

５．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　　価	評価損益
大阪府債6	69,986,000	63,623,700	△6,362,300
合　　計	69,986,000	63,623,700	△6,362,300

附属明細書

１．基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のため省略する。